

有償ボランティアタクシー「がんばらマイカー」の取り組み

公益社団法人 豊根村シルバー人材センター

1 導入の経緯

愛知県豊根村は、長野県、静岡県との県境に位置し、人口1,280人(550世帯)、総面積155.9km²(うち93%が森林)、高齢化率45%の少子高齢化が著しい山間過疎地域です。

村内の公共交通機関は、村営バスのみであり(富山地区については、JR飯田線を利用することが可能)、民間バスもタクシー会社もありません。また、村営バスは点在する集落全てをカバーしていないうえ、バスの運行は通園、通学、及び通院の時間帯が中心で運行本数が限られており、自家用車を持たない高齢者等の生活交通手段の確保が課題となっていました。

このため、村は、高齢者等の足の確保を目的に、平成15年の実証実験を経て、平成16年8月に中部運輸局の過疎地有償運送の許可を受け、有償ボランティアタクシー(がんばらマイカー事業)を開始しました。現在では、村から業務委託を受けた公益社団法人 豊根村シルバー人材センター事務局(以下「事務局」という。)が当該事業の運営を行っています。

2 サービスの概要

「がんばらマイカー」のサービスの概要は、以下のとおりです。

- ・ 利用希望者は、希望日の2日前までに目的地等を事務局へ予約する。
- ・ 事務局は、登録されているボランティア運転手の中から、都合が合う運転手を探し、折り返し、希望者に連絡して予約が完了となる。
- ・ 利用可能な者は、村住民(運転免許証を持たない、又は交通手段がない住民)である。
- ・ 送迎先(目的地)は、村内のみならず、村外も可能である。利用者の利便性を考慮し、“Door to Door”のサービスが基本であるが、最寄りのバス停留所・鉄道駅までの送迎も行われている。
- ・ 利用料金は、目的地ごとに決められている(1,000円~6,000円)(往復料金)。ただし、目的地での待機時間が必要な場合は、30分ごとに500円が加算され、別途、駐車料金、有料道路代金等が必要である。

3 利用状況

(1) 利用者数

「がんばらマイカー事業」開始後の利用者数は、以下のとおりです。

年	利用者数	村外への利用者の割合	医療機関への利用者の割合
平成16年	283人	42%	90%
平成17年	583人	45%	88%
平成18年	749人	37%	91%
平成19年	664人	35%	90%
平成20年	742人	26%	91%
平成21年	984人	19%	92%
平成22年	1,015人	19%	93%
平成23年	920人	18%	92%
平成24年	935人	19%	93%

※ 医療機関への利用者のうち、90%以上が村外医療機関の利用者である。

(2) 利用者の声

- ・ 「週に2回、隣町の病院まで通院しなければならないので、毎回がんばらマイカーを頼んでいる。村営バスより割高だが、家まで来てくれるのでとても助かる(80歳女性)。
- ・ 病院へ乗せて行ってもらい、帰りに買い物をして帰ってくるのが楽しみだ(83歳女性)。
- ・ バスの停留所まで歩いて20分かかるが、「がんばらマイカー」は庭先まで迎えに来てくれるからありがたい(86歳男性)。
- ・ 自分は親と離れて名古屋で生活しているので、親の通院は「がんばらマイカー」に頼るしかない。とても助かる(51歳男性)。
- ・ 電話一本で予約できるからありがたい(82歳女性)。

4 今後の課題

少子高齢化が著しい過疎地域では、ボランティア運転手を確保することも容易ではありません。現在登録をしている運転手のうち、実際にボランティア運転をしているは10名以下であり、中には85歳を越えている運転手もいます。

がんばらマイカー事業の必要性は言うまでも無く、安全で安心な事業として継続するために、これまでの10年間をきちんと検証したうえで、見直しも含めた検討が必要となっています。